令和7年 特集 市長と議長の 新春対談

三条市長　滝沢亮

三条市議会議長　森山昭

◆昨年を振り返って

市長

済生会新潟県央基幹病院が開院したことが一番大きな話題でした。

議長

私も県央基幹病院が開院したことが印象的です。また、滝沢市長が再選を果たされたことも話題でした。

◆合併20周年・20年間のまちの変化

議長

私は、20年前は旧栄町議会議員の2期目で市町村合併の議論を活発にしていました。

市長

私は、合併後の最初の成人式に参加しました。三条や栄地域出身の高校時代の友だちに会えたことが印象に残っています。

20年の間に、「たいぶん」や「まちやま」といった大きな施設がオープンしました。多くの方から利用していただきうれしく思います。

議長

二つ大きな施設ができて、すごくまちが変わったと感じています。さらに多くの方から利用してもらうために、さまざまな事業を考えていく必要があると感じます。

市長

今年は合併20周年ということで、イベントを計画しています。市主催以外でも市民の皆さまからさまざまな形で冠イベントを計画していただきたいです。

議長

旧栄町は合併前に町民のメッセージなどをタイムカプセルに入れて埋めました。どんなタイミングで開こうかと地域でも話題になっています。

市長

合併して、三条、栄、下田の祭りを楽しめる、花火も3カ所で楽しむことができるようになりましたね。

議長

市外からもお越しいただいていますね。

市長

明るい話題だけではなく、20年の間での人口減少の課題もあります。

議長

先日、まちなかの人と話をする機会がありました。ある日曜日の午前に、その方が家の前の通りを行き交う人を数えたところ数人だったそうです。日曜日のまちの中心部だというのに、こうした光景は、私たちの若い頃からは考えられない状況で、この先どうなっていくのだろうと感じます。

市長

少子化が進んでいますが、必ずしも暗い話題だけでなく、子育て施策や移住定住に向けた取り組みなど、それをきっかけとして力を入れるべき方向性が明確になりました。

◆教育環境の整備や子育て支援

市長

一昨年、昨年と創立150周年を迎える小学校の記念式典に参列しました。子どもたちのために学校をつくった当時の関係者の思いが、現代の私たちにも伝わってくる印象的な式典でした。私たちも、教育環境の整備を進めていますし、今の思いを将来につないでいきたいと思います。

議長

昨年11月、市長と一緒に嵐南小学校の創立10周年記念式典に参加しました。子どもたちは大勢の方がよいですし、活気にあふれている様子はとてもいいなと感じました。

学校の創立に合わせてよく桜の木が植えられますが、寿命は60年くらいと聞いたことがあります。学校ができることは地域にも大きな影響をもたらし、桜の成長とともに学校も地域も変わっていきます。60年とは言わないまでも校庭の桜が寿命を迎えるような長い歳月を経た頃は、ちょうど学校の在り方を見直す時期と重なるような気がします。

小中一貫教育が始まって10年が経過しますが、一方で少子化が進